

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業	環境衛生対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	害虫駆除事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	業務委託による駆除業務（5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名） 分室（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） 男木島は分室（直営）による駆除業務（5月～9月） 女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（5月～9月） 蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応		
	2年度概要 業務委託による駆除業務（5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名） 分室（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） 男木島は分室（直営）による駆除業務（5月～9月） 女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（5月～9月） 蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
委託業者作業箇所数	箇所	13,840	22,564	21,062	13,000	13,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		衛生害虫（主に蚊）媒介感染症罹患者数（海外渡航後発症等を除く）	人	目標値	0	0	0	0
	実績値			0	0	0	0	0
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 100.0%
	必要とする用水路等に効率よく作業を行うことにより、感染症患者発生の未然防止に貢献した。							35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	42,962	42,189	34,136	35,138
（事業費）	[千円]	33,099	32,358	31,860	32,862
（職員人件費）	[千円]	9,863	9,831	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

感染症の蔓延を未然に防止し、市民の快適な生活環境を維持させる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民が安全で安心して快適な生活環境を維持できるよう、今後とも引き続き事業を継続して実施することとし、実施体制については、委託業者の作業箇所数を精査するなど、コストの削減及び事業規模の縮小化を検討していく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業	環境衛生対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	公衆浴場施設改善事業等助成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	風呂のない家庭にとって、公衆浴場は日常生活で欠くことのできない施設であるが、その数は段々と減少しているため、経営の安定化を図るなどの必要な助成を実施することにより、公衆衛生の向上や増進、住民の福祉の向上を図る。		
2年度概要	公衆浴場業者への水道料金助成 公衆浴場活性化事業等補助 公衆浴場施設改善事業補助		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	香川県知事が指定する物価統制令により入浴料金が統制されている公衆浴場業者及び高松公衆浴場組合
意図(どのような状態にしたいか)	公衆浴場業者の経営の安定化を図り、転廃業を防止する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助金交付件数	件	2	2	1	2	2

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
一般公衆浴場数(銭湯)	箇所	目標値	7	6	6	6	6
		実績値	7	6	6		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度) 100.0%</p> <p>35点</p>						
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度)</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	17,185	16,765	16,501	17,374
(事業費)	[千円]	7,322	6,934	6,637	7,510
(職員人件費)	[千円]	9,863	9,831	9,864	9,864

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

施設の老朽化が進んでいるが、補助を行うことにより、計画的に施設改善に取り組んでおり、結果的に利用者の増加につながっている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

市民の公衆浴場の利用機会の確保のためには、利用しやすい入浴料金を設定しなければならないが、値上げによる対応は困難であり、引き続き市の助成が必要である。一方、公衆浴場数の維持のためには、利用者の確保が必要であり、自家用風呂の保有者など、さらなる利用者の拡大に向けて、公衆浴場組合による銭湯のイベント等において魅力ある事業を展開していく必要がある。今後は、公衆浴場施設経営者の意見や市民のニーズの把握などに努め、助成対象事業の内容を精査するなど、より効果的な事業を実施していく。